

学校研究だより

第1号

平成30年6月20日（水）

学校研究委員会



第2回校内研修会を終えて

保健体育の授業参観の予定でしたが、雨のために中止となりました。代わりに、校内研修会で保健体育科における授業づくりのポイントなどを、仁地先生にお話ししていただくことになりました。ルーティーンをはじめとした授業規律の部分、大人数を指導するための工夫など他教科の授業にも通じる大切な基礎基本を学ぶことができました。

また、美術科の太田先生と技術科の元田浩一先生から、普段の授業実践における工夫を紹介いただきました。生徒の興味関心を引く工夫、視覚的にわかりやすく伝える工夫などを知ることができました。お忙しい中準備、発表をしていただきありがとうございました。

<学んだことや感想から>

- ・同じ技能教科として、自分たちで課題に応じて練習メニューを考えることに驚きました。どのように練習するか考え、主体的な練習となるように取り入れてみたいと思いました。
- ・自分たちで練習を組み立てて授業を行うことは、他教科でも生かしていけると思う。
- ・3年間の見通しは、社会科でも常に意識しているが、体育のような系統性をさらに研究していきたいと思った。
- ・理科でも3年間の学習内容の関係を考え、①学習の導入を工夫する、②まとめ方を分野で決める、など取り組んでみたいことがたくさん出てきた。実践していきたい。
- ・1年生のときは教師が主導しても、2年生、3年生になるにつれて生徒が主体となって行っているようにしているのが、自分はとても勉強になりました。
- ・導入のあいさつや終わりのあいさつを徹底させること、様々なルーティーンを確立することも、規律を1年保たせる上で自分も意識したい。
- ・体育では、号令のあと教師が「解散」と言うまで起立の姿勢を続けているということも知り、ぜひ自分の授業でも生かしたいと感じました。
- ・話をするとき、聞く姿勢をととのえることが改めて大切だと感じた。
- ・グループ学習をする際のルーティーンを決めておくことで、スムーズに活動に取り組むことができるし、安心して授業に臨むことができるのではないかと思った。
- ・1時間を終えたときに、何を理解してほしいか、どのような技能が身につけてほしいか、そこをはっきりさせる必要がある。
- ・具体的かつ明確な目標を示し、ポイントを伝えること、そして、その目標についての振り返りの時間をしっかり設けることの大切さを改めて感じる事ができた。
- ・主体的な学びを支援するためにICTの活用も有効だと改めて感じました。そのときに適したものを選んで使用できるようになりたいです。
- ・体育でできるのなら他の教科でもできるという言葉が心に残りました。

<裏面につづきます>

みなさんそれぞれにとって、新しい学びや発見、大切なポイントの再確認の場になって、よい研修になったと思います。

学んだことをキーワードで書いてくださった先生もおいでるので、そのキーワードを以下にまとめてみました。どの教科でも、できることから実践していきたいですね。

- ・ 3年間の見通し
- ・ 教師の共通理解
- ・ 子ども主体
- ・ 授業で生徒指導
- ・ ルーティーン的重要性
- ・ 苦手だけど好きになる手立て
- ・ 課題を見つけ、自発的に自己解決をさせる準備
- ・ 課題が明確（今日何をするのか分かる、流れだけでなくポイントも分かる）
- ・ 振り返りの充実



第3回校内研修会について

6月22日（金）の校内研修では、社会科の授業から学びます。市河先生の授業を参観させていただきます。また、当日は講師に 北 俊夫 氏（国土舘大学教授）をお迎えして、指導・助言をいただきます。よろしくお願いいたします。

<授業参観では>

授業参観シートの特に次の項目について、重点的に見るようにお願いします。授業整理会でもその部分を深めていけたら、と考えています。

1⑧：ペア、グループ活動により、思考を深めたり広げたりしている。

1⑨：ねらい達成に必要な言葉を用いてまとめている。

要請訪問に向けて

先日お知らせしたように、7月19日（木）の要請訪問において、10月2日（火）の計画訪問で行う研究授業と公開授業の指導案検討をします。指導案の**校内しめきりは7月6日（金）**です。期末テストや成績処理の時期でもあるので、早めに準備をしておいてください。

